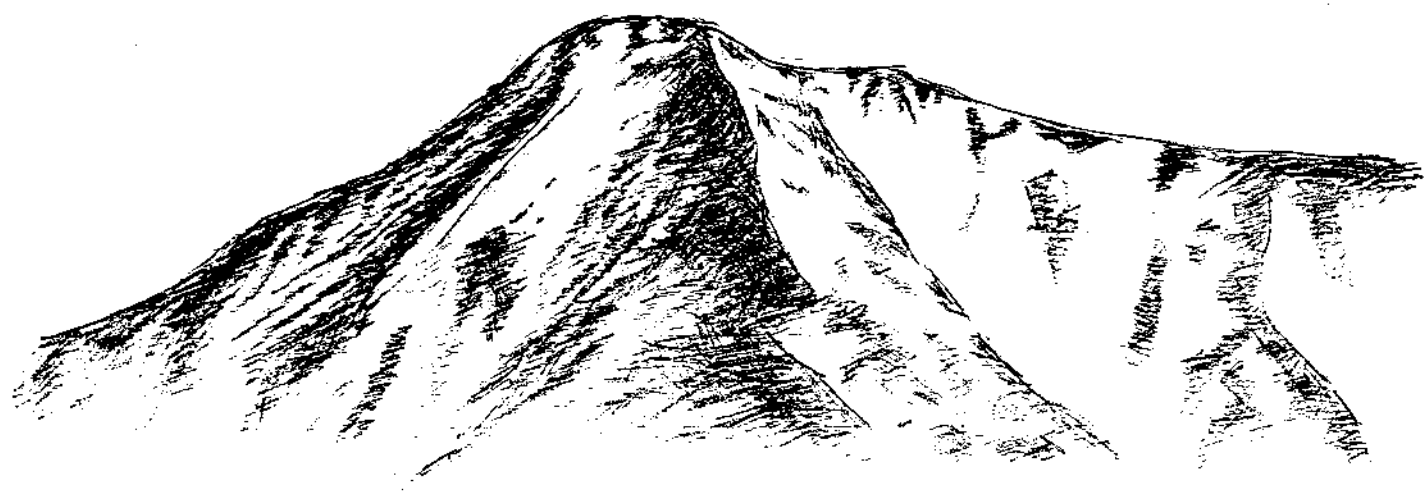


日本電装電友会 山岳部

91年度春山合宿記録



A パー
CL 一倉天馬山(階)
乃根大伊予香遠

B パー
CL 金子田(健)
金知藤岡

C パー
CL 森田

〒
〒

NO.			
作成	年	月	日
部			課

'91 春山合宿を振り返り

配布先	

今日の春山合宿、全体を通じて考えると、私自身の希望していたような状態で終了することが出来、成功であったように思われます。しかし、反省点も数多く有ります。オ1に事前の計画について、募集の遅れが有り、準備期間が短かったことと有り、平地合宿での資料不足、合宿に対してのメンバーの意識不足が感じられたことが、残念であり、計画側の反省すべき点であった。

オ2に、コース設定だが、参加メンバーの重量等を考慮し、後半の日程を少し余裕あるものすべきであったと考えます。又、今回のコースタイムを冬山合宿の参考にし、生かしたいと思います。

オ3に、体力面ですが、当初から予想していたように掛ける人とそうでない人の差がはっきりと出た形となりましたが、今後の山行を通じ、各自体力UPに務めてもらいたいと思います。

オ4に、地図については、特に積雪期のルートでは、修正図ではなく三千五千分の一の地形図を持ち、視界不良時、ルート不明時等には各自確認できるように（行動途中も）してもらいたいと思いました。

今合宿の目的の一つである冬山の偵察については、やはりルートが大変長く、そして積雪量も多いと予想され、相当苦勞する体力勝負の山行となりそうだと感じました。又ポイントとしては、合衆根のラッセル、熱岳～大天井岳間の強風、常念岳～蝶ヶ岳間の樹林のルート、蝶ヶ岳ヒュン通過後のルート、大滝山～徳本峠の樹林のルート、徳本峠からの沢の下り、と細かいものあげればきりがない程あげられ、今後の偵察山行が重要になるから、それらの計画を綿密に行いたいと考えます。

経路
作成部署↓報告部署
保管
写原紙
年 年

承認
検討
作成 板倉

〒 _____
↑
〒 _____

NO.			
作成	年	月	日
部			課

配布先	

私が今合宿が成りたと感じた理由は、各自のメンバーに対する努力が伝って来たこと。さらに大矢さんは、終始トップを歩き、積雪期のルートファインディング等、身を持って体験したこと。雪上歩行経験の浅いメンバーが多い合宿では、とにかく雪の上を歩くという目的から、ラストから見ていると、一人一人の進歩があつたように感じられました。

最後に、多くの差し入れ及び留守部員として協力していただいた方々に、無事合宿を終了したことを報告するとともに、この場を借り、お礼をいきたいと思います。

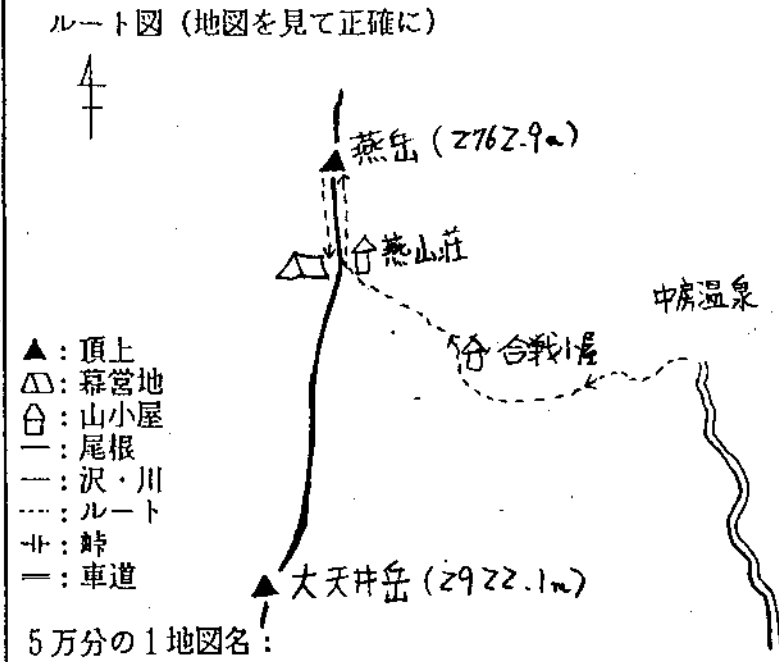
経路
作成部署 ↓ 報告部署
保管
写 原紙
年 年

承認
検討
作成 板倉

5月度例会 個人		山行 集会 報告書		報告者 報告日	手シマ 5/15	参加 メンバー	CL: 板倉 大矢 伊藤 青藤 手鳥 金子 岡部 藤田 和田
山 域 山 名	北アルプス 燕 岳	山行日	91年 4月26日(金)~ 年 月 27日(土)				

山行目的: 春山の雪上技術の維持向上を図る

配布先
集会: 8
山行: 1
リーダー
原紙: 集会
担当者



コースタイム (天候: 天気図記号)

7:00 (○)	12:55 燕岳山頂
4:04 穂高駅着	(アイゼン修行練習)
5:05 登山口着	14:00 出発
(中房温泉)	14:20 燕山荘
5:45 出発	
6:45 (休)	
7:03 発	
8:00 (休)	
8:20 発	
9:23 (休) 合戦小屋	
9:47 発	
11:22 燕山荘	(テント設置)
12:30 出発	

<報告者所見> 雲ひとつない晴天の朝である。中房温泉手前の登山口でおにぎり
腹につめてみ出発する。道はしっかり踏み固められていて歩きやすいが、最初から
急登につぐ急登である。ネーベンチ、ネーベンチと超え、一歩一歩高度をかせぐ。
やこのことで樹林帯を抜けると合戦小屋に着く。日差しがとても強く、雪の白と
空の青とのコントラストが美しい。それを見るたびに「やっぱり山はイ...」と思う。
一息ついて出発すると、まだまだ急登は続く。視界は広がり、右手に燕岳、左手に
大天井岳が見えてくる。また唐突ではあるが、槍の先端も稜線からヒョコリと
頭を出していた。燕山荘手前の登りはとても苦しかった。全員の足どりが
重くなりかけた頃、藤田さんの「ファイト! ガンバレ!!」のかけ声に元気づけ
られながら、なんとか燕山荘に着いた。本当に苦しい時のかけ声はとても良いものだ。

~~サ~~所見 → テントを設営し、次は燕岳に向かった。
30分もしないうちに山頂に着く。抜群の天候だった
ので眺めは最高だった。春の陽光の中でのアルプスの
山々はとても良い顔をしていた。時間に余裕が
あったので、頂上直下でアイゼンの歩行練習も
行った。テニ場に帰ってからはビールで乾杯し
少しゼイタクな合宿一日目の夜をむかえた。

フリースペース
山の紹介・スケッチ・エビ
ソード・その他自由に

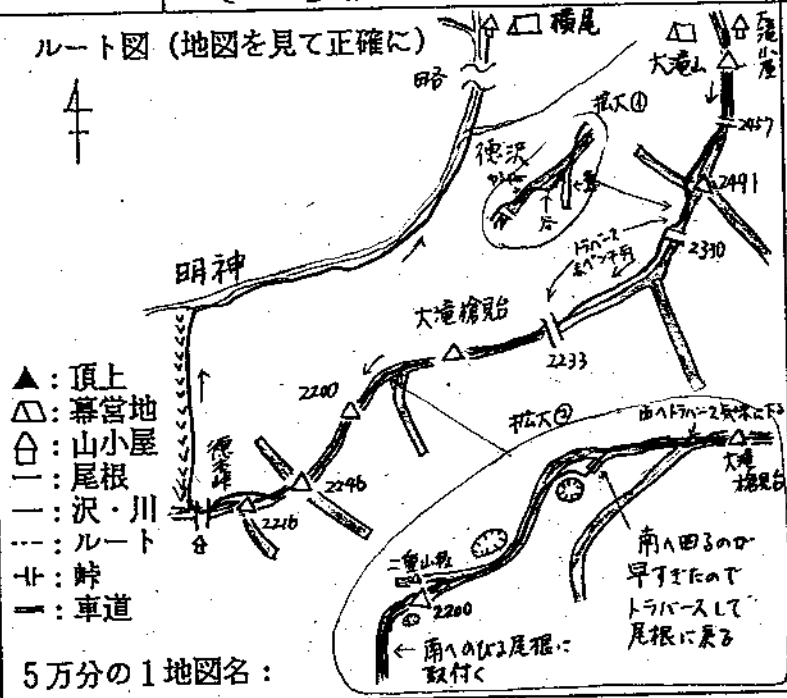
月 山行 集会報告書		報告者 報告日	和田 5/11	参加	CL: 金子 藤田 岡部 和田
山 域 名	燕岳、大天井岳 常念系、横笛岳	山行日	91年4月26日(金)~ 91年4月29日(月)	メンバー	
山行目的		コースタイム (天候: 天気図記号)			
配布先	ルート図 (地図を見て正確に)	6:00 千湯出発			
集会: 8		7:10 千湯前平岩 8:30 千湯前川			
山行: 1 リテ		8:30 2699.ピーク 10:10 大天井岳中尾			
原紙: 集会担当者		11:05 大天井岳小屋 12:35 横笛岳午前			
		14:00 常念小屋			
<報告者所見>					
<p>朝4:00起床 初日の疲れのせいから熟睡できなかった。昨日に続き昨日も晴天で思い山行に午リテ。</p> <p>足元の雪も固くほつており、全夏アゼンも付す。6:00に出発。右手には横笛岳のすばらしい大岩</p> <p>でも見れば感謝の前送。今回初めての雪山経験の秋にとって、本日最大の難所の大天井岳</p> <p>の登りは緊張と恐怖の思い経験となりました。ここではガレで石が下りて登る事になりピク</p> <p>ルとアゼンの基本的な使い方の練習に別れた。他にも10人近々の登山者も準備待ちとなり私</p> <p>達も見て大学の山岳部だというわけを聞いていた様子。皆若く見えたと内心喜んで</p> <p>いた事でしょう。そして大天井岳を越え小屋で11:05休憩。横笛岳の下りでは</p> <p>皆んな結構疲れが出てきたようで常念小屋前前の樹林帯では疲れがさらに増し</p> <p>ました。しかし本日の山行も晴天に恵まれ最高の山行でした。</p>					
<リーダー所見>					
<p>フリースペース 山の紹介・スケッチ・エビ ソード・その他自由に</p> <p>朝食での青カモチウとシ は履べても体調に 向題がないという結 果が人体実験で証 明された。</p>					

91年度春山合宿

月例会 個人	山行	集会報告書	報告者 報告日	大矢 5/5	参加	CL: 板倉, 大矢 伊藤(隆), 千嶋 香藤
山域 山名	北アルプス南部 大滝~徳本~横尾	山行日	91年4月30日(火)~ 年 月 日()		メンバー	

山行目的	冬山合宿の偵察	コースタイム (天候: 天気図記号)
------	---------	--------------------

配布先
集会: 8
山行: 1
リーダー
原紙: 集会担当者

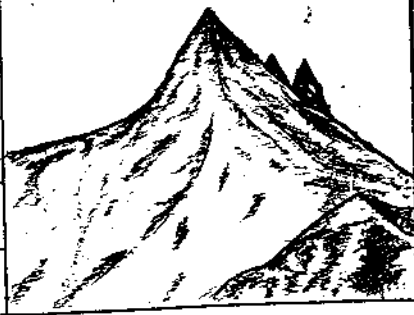


3:00 起床	12:50
5:10 大滝小屋 荒	13:05) 明神
6:20) 2360m 板太①	13:47
6:40) 左に尾根の派生 右に真中の谷を下降	14:00) 徳沃
7:36) 2233	14:58 横尾
7:50 大滝槍見台	
8:10 大滝槍見台	
9:18) 南に曲って少し下	
9:53) 尾根に	
10:20) 徳本峠	
12:00)	

<報告者所見> テントから出ようとして顔を出すともう太陽が出ていた。今日は良い天気である。コースは殆んど樹林帯の中であり、展望が乏しいのでルートを確認しながら慎重に歩く。最初のピーク 2491は右側を巻く。トレス口は、あまり狭いから赤パンキが20mくらいおまにあるので山がかりやすい。2491を越えたあたりから、赤パンキがなくなり、左に尾根の派生する真中の谷を降り、平坦な部分に出ると再び赤パンキが出てきた。早急なトランプスが始まり、ずっと続いている右下りの斜面に足首が疲れた頃、2233の鞍部に出た。ここから大滝槍見台までは苦しい登りで、パックの重さかた足だんこたえてくる。大滝槍見台にはヤクラーがあり、ここは絶好の展望台だ。ここでのんびりスッパでもした。気持ちをおさえて、写真を撮った後で先を急ぐ。大滝槍見台からの下りは、最初少し北側に下り、西へトランプス気味に下ると尾根がはまりてくる。しばらく行くと、尾根の南側面

~~サダ~~所見 へ折れるのが、曲るの少し早過ぎたので一本取り、現在地の確認をする。伊藤さんが正しい尾根を見つけたので、右にトランプスし尾根に戻る。2200付近は二重山稜に当たっているが、南にのびる尾根を確認し、左へ登る。2246辺りから、トレスがしかりてきて徳本峠近しを感じた。2246は直登したか、左に巻くトレス沿いに行くと、楽だったかも知れない。2216のトランプスで終了。

フリースペース
山の紹介・スケッチ・エピソード・その他自由に



〒 _____
↑
〒 _____

NO.			
作成	年	月	日
	部		課

ひょこりこ 徳本峠に出て。Cパーティーの森さん、浅田さんや
ここで合流する亀山さんと再会する。霞沢岳か槍かどろろを運ぶか
については、結局槍へ行くことにし、今日のうちに横尾まで行っておくこと
に決定する。Cパーティーと一緒に徳本峠を下り、明神でCパーティーと
別れ、もう一頑張りして横尾に着く。

配布先	

経路

作成部署 → 報告部署

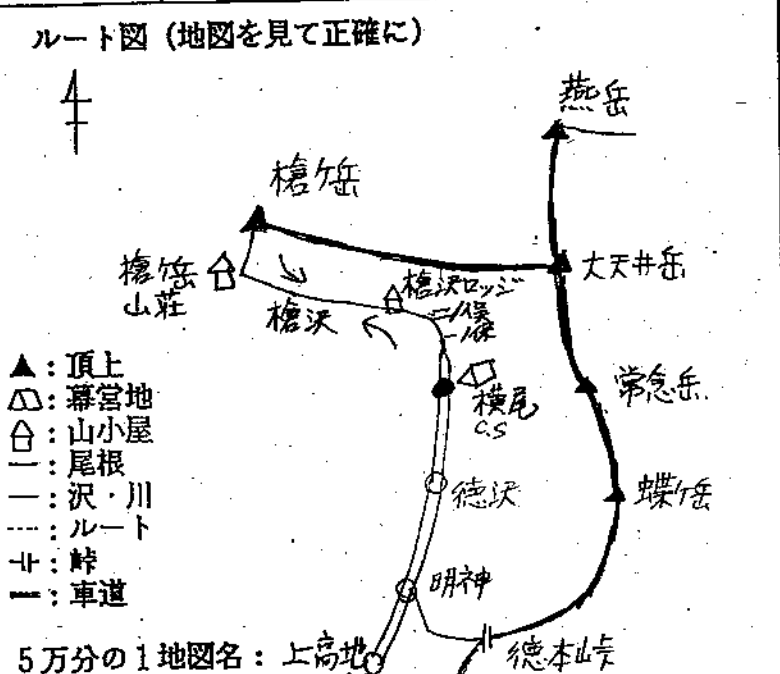
保管
写 原紙
年 年

承認
検計
作成

月例会 個人 山行 集会報告書		報告者 報告日	5/15	参加 メンバー	CL: 板倉, 大矢 龜山, 手嶋, 伊藤, 齊藤
山域 山名	常念山脈~檜	山行日	91年4月26日(金) 91年5月2日(木)		

山行目的	春山合宿	コースタイム (天候: 天気図記号)
------	------	--------------------

配布先
 集会: 8
 山行: 1
 リーダー
 原紙: 集
 会担当者



5月1日 ◎⊗ 3:10 起床 4:45 横尾出発 5:55 二の俣 6:30 檜沢ロッヂ 10:10 檜岳山荘 11:00 檜岳頂上 12:45 檜岳山荘	2:40 檜沢ロッヂ 4:00 横尾着
--	------------------------

<報告者所見> 朝4:45分に出発。いよいよ今合宿最後の山、檜岳へ向かう。前日までの重いザックから解放されて、軽快に進む。ただし、行動時間が長くなるので、その分大変である。手嶋君の鼻歌をききながら、檜沢ロッヂをこえ、檜沢に入る。雪がかなりあり、雪上を順調に登っていく。途中から傾斜がかなりきつくなり、特に檜岳山荘の手前は急すぎて、まともに直登出来ず、かなり苦労して登る。また、完ぺきなガスにまかれ、ホワイトアウト状態で、右も左も全く分からない。コンパスだけをたよりに、ヤツのごとく、小屋を見つけ、休けいする。その後、檜岳頂上へ天気が悪いため行くかどうかわからないが、ザイル確保しながら登ることにし、頂上を目指す。約40分かけて頂上へ着くが、気温-5°~-7°Cで、風も強風が吹きあられ、目にもつらさが下がり、寒くて写真だけとって即下山。下りは、ザイルを固定して、1時45分かけてよう

~~サツ~~所見> やく無事下山。待っている間、寒くてみなこごえる。手嶋君が下りでかなり手こずる。小屋についてみなホッと、下山の途につく。途中まで下りるとガスもはれ、風もなく生きがった気持ちになる。途中みんなで、グリスをしようとして行くが、表面がボコボコで結局出来なかった。最後、お土産までの1時間は、亀山, 大矢, 板倉, 大矢, 齊藤の4人でかけ、大会。前半までの常念とはまたちが、たきびさが別、有意義な山行であった。

フリースペース
 山の紹介・スケッチ・エピソード・その他自由に

月度例会 個人	山行	集会報告書		報告者 報告日	5/15	参加	CL: 板倉、大天 伊藤、平島 斎藤、鹿山
山域 山名	北アノブス 横尾〜上高地	山行日	91年5月2日(不)~ 年 月 日()	メンバー			

山行目的	縦断的向上、復探	コースタイム (天候: 天気図記号)
------	----------	--------------------

配布先
集会: 8
山行: 1
リーダー
原紙: 集会担当者

ルート図 (地図を見て正確に)

▲: 頂上
△: 幕営地
□: 山小屋
—: 尾根
- - -: 沢・川
- · - · -: ルート
+ : 峠
—: 車道

5万分の1 地図名:

起床 6:00	◎
出発 8:10	
徳沢、明神の中間 9:30~9:45	◎
河童橋 10:20~40	
湯泉行へ「上高地」 12:30~13:40	◎
松本取 15:20 15:40	◎
名倉 18:05 18:15	
到着 19:00	◎

<報告者所見>

春の合宿最終日、雪の積り、テントを撤収し横尾を後に上高地へ向う。靴下を脱いだり人が数人居るか。ピッケルは早目である。明神池手前からけとうとう走り出した。峠の板倉君と平島君が現れてくれた。河童橋付近では観光客にぶつかり、雪の降り上高地の景色に歓声があがっていた。私達はウエストン碑前を通り上高地温泉へ行く。雪の舞う中霧王丸を以て疲れをいやし松本を由り上高地へ帰る。

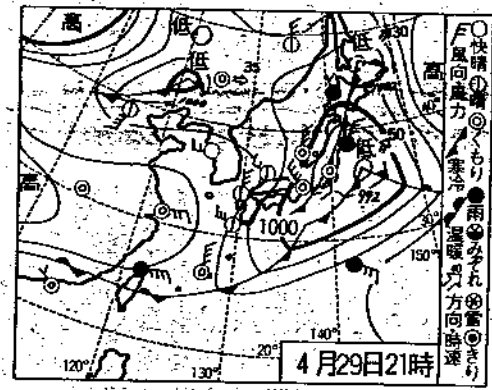
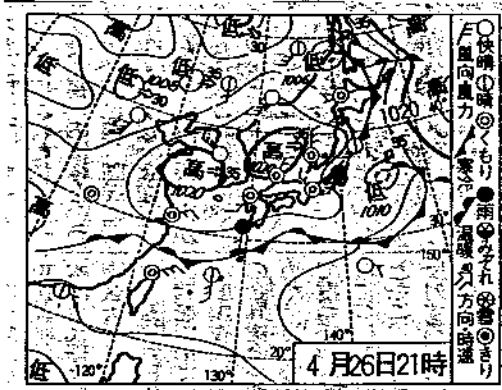
<リーダー所見>

フリースペース
山の紹介・スケッチ・エピソード・その他自由に

上高地温泉、温泉街

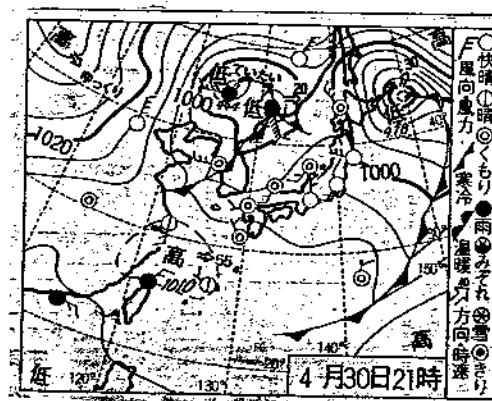
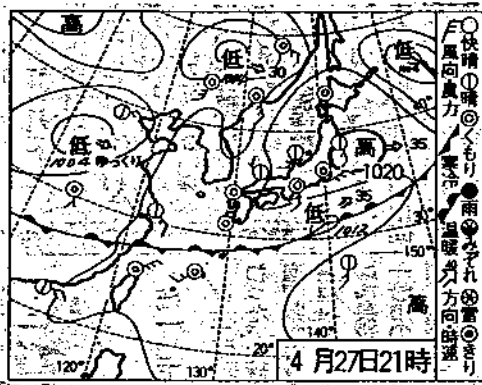
91年度春山合宿 気象

作成：大矢 5/11



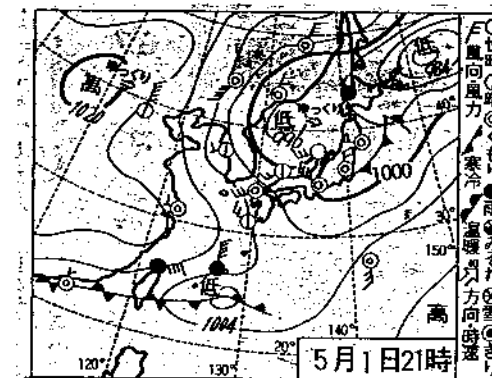
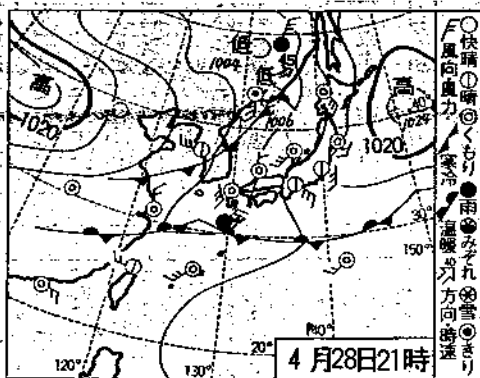
4/27 5:45 中房温泉 ①
14:20 燕山荘 ①

4/30 5:10 大滝小屋 〇
14:58 横尾 〇



4/28 6:05 燕山荘 〇
14:00 常念小屋 〇

5/1 4:45 横尾 ②
11:00 檜竹岳 ② 時々 ④ 風速 -5c
15:40 横尾 ②



4/29 5:05 常念小屋 ②
13:28 大滝小屋 ②

5/2 8:10 横尾 ④
10:30 上高地 ④

→ ● → ⊗